

令和4年度 全国学力・学習状況調査の概要

学力調査の結果（小学校）

平均正答率

教科	国語	算数	理科
藤井寺市	61	61	56
大阪府	64.0	62.6	60.4
全国	65.6	63.2	63.3

※平成29年度から市の表示は整数
※理科は平成30年度から4年ぶりに実施

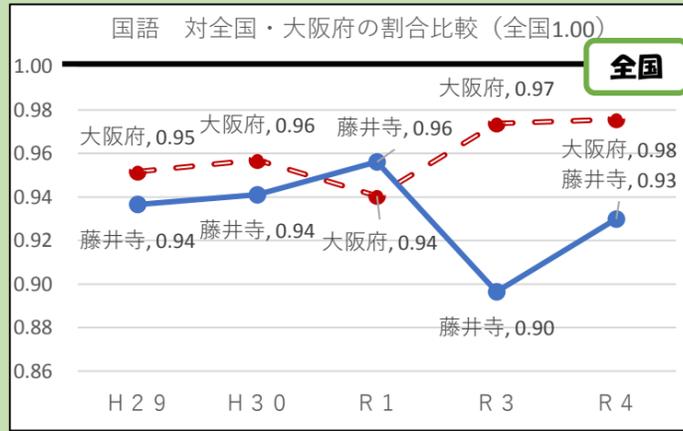
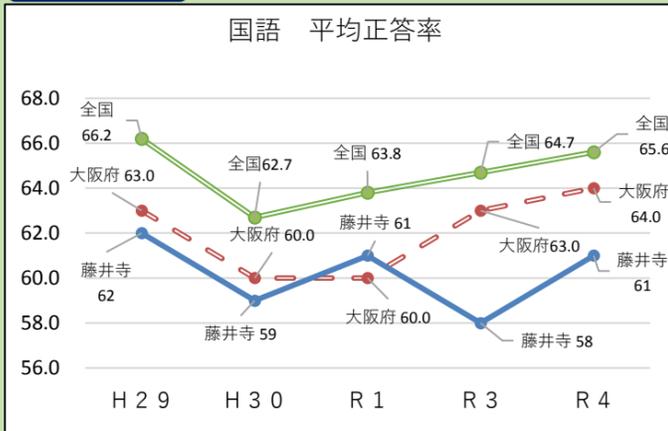
全体的な傾向

- ◆平均正答率は、国語・算数・理科において全国・府平均を下回っている。
- ◆国語・算数は、昨年度の全国との差は改善傾向にある。
- ◆家庭学習（宿題を含む）を全くしない児童は多いままである。
- ◆読書をしない・自己肯定感・朝食の喫食率・学校が楽しい・ゲームの時間は、改善傾向にある。

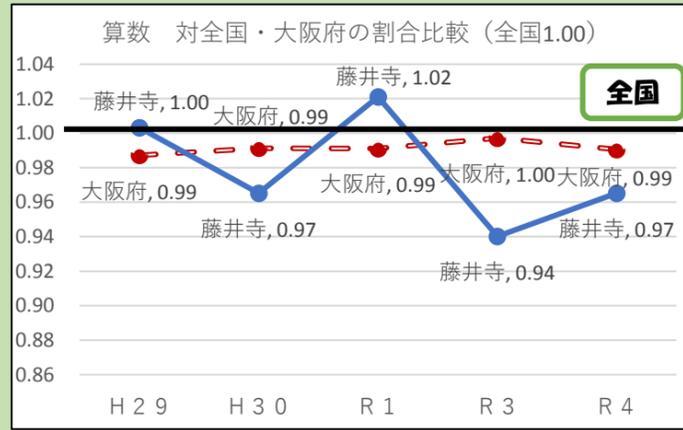
※R2は新型コロナウイルス感染症の影響のため中止。
※H30以前は、国語、算数のA問題、B問題の平均値で表示

「全体の平均正答率」と「対全国との割合比較」

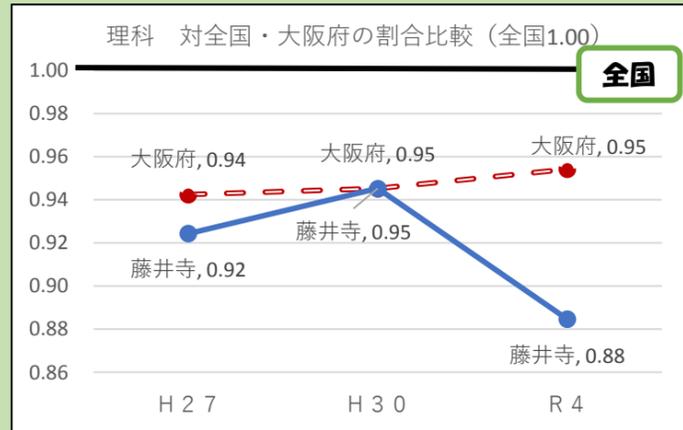
国語



算数



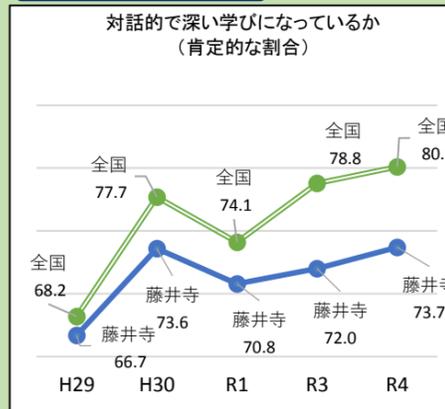
理科



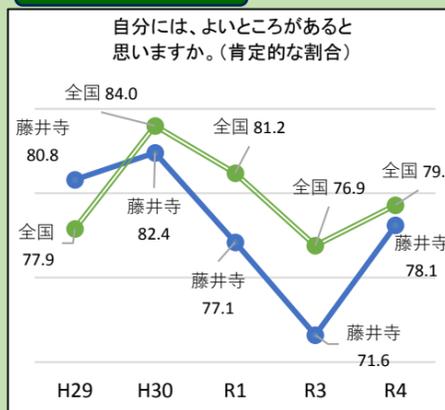
児童質問紙調査の結果（小学校）

※「ICT活用」は、R1からの調査項目
※「ゲーム時間」は、H30・R1の調査項目なし

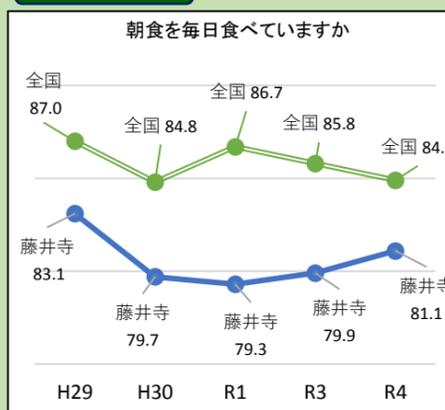
話し合い活動



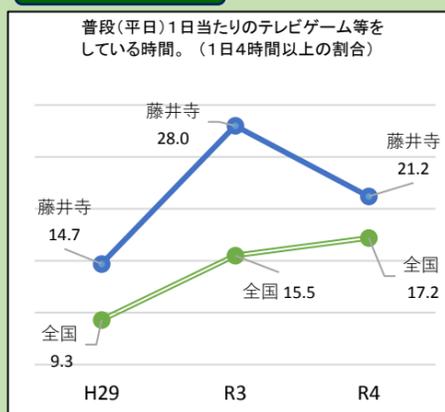
自己肯定感



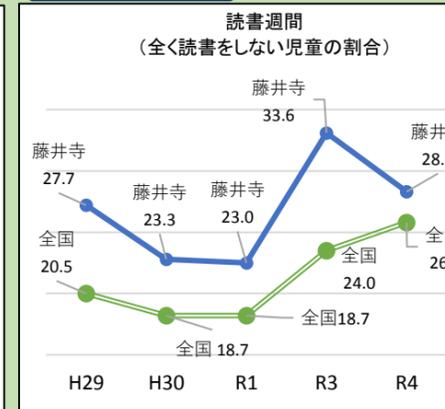
朝食



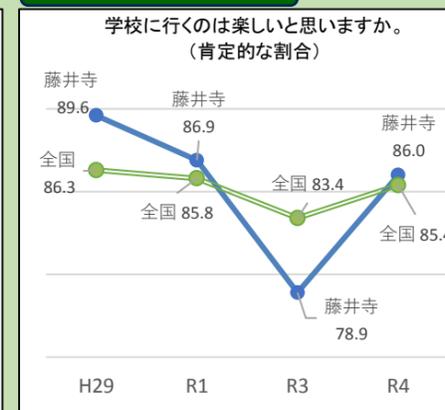
ゲーム時間



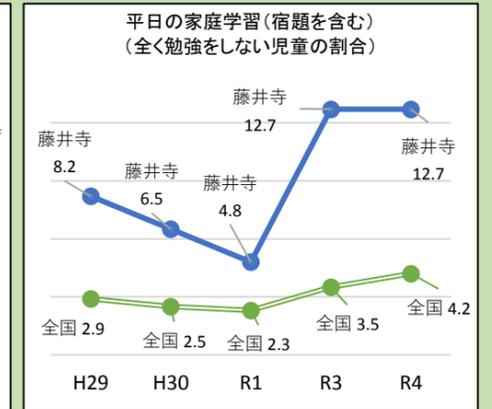
読書習慣



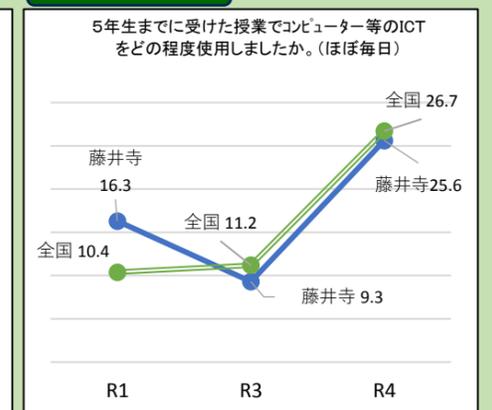
学校が楽しい



家庭学習



ICT活用



今年度の結果分析と取り組みについて

国語、算数、理科の平均正答率は、全国・大阪府を下回っています。4年ぶりに実施された理科は、全国・大阪府の平均正答率が上昇したのに対して、本市は下降しております。全国を1としたときの対全国・大阪府の割合比較は、昨年度と比べると、国語・算数において、改善傾向にあります。しかし、理科については、4年前から大きく下降しており、理科に課題があると言えます。

国語・算数については、改善傾向にあるので、まずは府の平均正答率へ到達することができるよう授業改善を継続していく必要があります。昨年度より、国語の研究授業に取り組む学校が多くなっており、授業改善を目指していきます。

更に、質問紙調査においては、「読書を全くしない」、「自己肯定感」、「朝食を毎日食べる」、「学校が楽しい」、「平日にゲームを長時間する」は、改善傾向にあります。これらは、学力調査にも影響がある項目であり、学校と家庭の協力した取り組みの成果と言えます。しかし、「平日に家庭学習を全くしない」児童の割合は、昨年度と同様の傾向が継続しております。この傾向は、休日においても同様であり、学校では、宿題の提示方法に工夫が必要と考えております。

今年度の取り組みとしては、市内2小学校を「学校図書館」、「学力」の大阪府モデル校として推進しております。モデル校事業は、学力向上だけでなく、授業改善にも大きく寄与しており、好事例を市内各校へ公開しています。また、今年度は、教科に関する指導教諭による公開授業を実施しており、見本となる授業を教員が参観できる機会を作り、教員の授業改善に取り組んでおります。更に、家庭学習については、今年度の重点テーマでもあるので、各校の取り組みを積極的に推進していきます。